

第76回『巣立ちのネットWORK』事務局会議

平成22年 7月14日(水) 14:00～16:30
京都市総合教育センター 1階 第2研修室

(司会) 京都市立西総合支援学校 進路指導主事 白方 秀和

1. 挨拶 (京都市教育委員会)

2. 出席者自己紹介

3. 事務局構成員・事務局長選出

4. 代表の選出

5. 代表の挨拶

6. 規約の確認

7. 報告

(1) 平成21年度 事業報告 (福田)

8. 情報交換

(1) 総合支援学校就職の状況 (山本)

(2) 平成21年度卒業生進路状況および平成22年度卒業生進路希望について (小谷)

(3) 障害者就労支援推進会議のその後の状況について (京都市保健福祉局障害保健福祉課)

(4) 「京都障害者就業・生活支援センター」昨年度の状況と今年度の取組について
(京都障害者就業・生活支援センター)

(5) 企業向け人権啓発事業について (京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課)

(6) 平成22年度「京都障害者ワークフェア」 (京都府高齢・障害者雇用支援協会)

(7) その他

9. 議事

(1) 平成22年度 事業計画(案) (中西)

(2) 第17回「障害のある市民の雇用フォーラム」について (石上)

10. 閉会の挨拶 (事務局長)

11. 諸連絡

- <配布資料>
- ・平成21年度卒業生進路況
 - ・平成22年度卒業生進路希望状況
 - ・京都市障害者就労支援推進会議通信等
 - ・京都障害者就業・生活支援センター パンフレット
 - ・京都障害者職業センター パンフレット
 - ・企業向け人権問題情報誌「ベーシック」

第 7 6 回事務局会議出席予定者名簿

氏 名	職 名 等	備 考
鈴鹿 且久	株式会社 聖護院八ツ橋総本店取締役社長	
森本 憲一	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談支援部長	
伊藤 裕	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談サービス課長	
岩井 光男	京都手をつなぐ育成会理事	
谷口 信行	ハローワーク京都七条 京都障害者職業相談室長	
田中 正人	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 京都障害者職業センター所長	
阪田 理恵	社会福祉法人 京都総合福祉協会 京都障害者就業・生活支援センター所長	
吉原 百合子	京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課 担当係長（企業啓発）	
村岡 孝	京都市産業観光局 商工部 産業政策課 課長補佐	
居内 学	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長	
中村 泰之	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長補佐	
山口 明裕	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 担当係長	
梁川 恵	京都市児童福祉センター発達相談所 発達相談課 相談判定係長	
蘆田 薫	京都市立総合支援学校 PTA 連絡協議会 『巣立ちのネットWORK』担当	
春原 克彦	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 副校長	
木下 幹雄	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 進路指導部長	
奥田 信一	京都市立北総合支援学校校長	
小谷 加代子	京都市立北総合支援学校 進路指導主事	
森脇 勤	京都市立白河総合支援学校校長	
石上 智賀子	京都市立白河総合支援学校 進路指導主事	
堀田 明彦	京都市立東総合支援学校校長	
福田 好孝	京都市立東総合支援学校 進路指導主事	
北村 裕二	京都市立鳴滝総合支援学校校長	
辻 佳英	京都市立鳴滝総合支援学校 副教頭	
山本 陽子	京都市立鳴滝総合支援学校 進路指導主事	
小林 一義	京都市立西総合支援学校校長	
白方 秀和	京都市立西総合支援学校 進路指導主事	
永井 実	京都市立呉竹総合支援学校校長	
中西 太郎	京都市立呉竹総合支援学校 進路指導主事	
森 卓也	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 首席指導主事	
下山 純一	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 担当課長補佐	
中嶋 裕	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 総合育成支援係長	
中村 一郎	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 指導主事	
伊丹 由紀	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 指導主事	
遠山 敏広	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 係員	

事務局構成員

団体名（関係機関）	氏名	団体名（学校）	氏名	
京都府高齢・障害者雇用支援協会	伊藤 裕	京都教育大学附属特別支援学校	春原 克彦	木下 幹雄
	森本 憲一	京都市立呉竹総合支援学校	永井 実	中西 太郎
京都手をつなぐ育成会	岩井 光男	京都市立鳴滝総合支援学校	北村 裕二	山本 陽子
京都障害者職業相談室	谷口 信行	京都市立東総合支援学校	堀田 明彦	福田 好孝
京都障害者職業センター	田中 正人	京都市立白河総合支援学校	森脇 勤	石上智賀子
京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課	居内 学	京都市立西総合支援学校	小林 一義	白方 秀和
	中村 泰之	京都市立北総合支援学校	奥田 信一	小谷加代子
	山口 明裕	京都市教育委員会指導部総合育成支援課	山本 英生	朝比奈覚順
京都市児童福祉センター発達相談所	梁川 恵		下山 純一	中村 一郎
京都市立総合支援学校PTA連絡協議会	蘆田 薫		中嶋 裕	伊丹 由紀
京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課	吉原百合子		遠山 敏広	
京都市産業観光局 商工部 産業政策課	村岡 孝			
京都障害者就業・生活支援センター	阪田 理恵			

事務局長の選出

所 属	氏 名
京都市立白河総合支援学校	森脇 勤

代表の選出

所 属	氏 名
株式会社 聖護院八ツ橋総本店取締役社長	鈴鹿 且久

総合支援学校生徒の進路開拓をめざす「巣立ちのネットWORK」規約

(目 的)

第1条 総合支援学校高等部生徒の進路先の開拓・開発及び定着に向け、教育・労働・福祉及び家庭の連携をより一層緊密にし、一人一人の障害の状態に応じた幅広い多様な進路を確保するための情報交換及び社会啓発等を推進する。

(名称と構成団体)

第2条 本会の名称は、総合支援学校生徒の進路開拓をめざす「巣立ちのネットWORK」とする。

- 2 本会の構成団体は、別表に掲げるものとする。
- 3 本会の事務所は、事務局長の出身団体の事務所に置く。

(事 業)

第3条 本会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①進路保障に向けた就労に関する情報交換
- ②企業就職している卒業生に対する職場適応指導
- ③企業等への啓発活動
- ④その他第1条の目的を達成するために有益な事業

(事務局)

第4条 本会に事務局を設置する。

- 2 事務局は、第2条第2項の各構成団体から推薦された者で構成する。
- 3 事務局の構成員は、本会の会議等で得た個人情報の秘密保持義務を負う。

(代表及び事務局長)

第5条 本会に代表及び事務局長を置く。

- 2 代表は本会の構成員の中から、事務局長は事務局の構成員の中から選出するものとし、前条の事務局で選出する。
- 3 代表及び事務局長の任期は1年とし、前条の事務局で選出する。
- 4 代表は本会を代表する。
- 5 事務局長は本会の会務を総括するとともに、代表に事故あるときはその職務を代理する。

(会 計)

第6条 本会の経費は、寄付金、助成金及びその他の収入を持ってこれにあたる。

- 2 会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(規約の改廃)

第7条 規約の改廃は事務局の議決による。

【付 則】

- *この規約は、平成 6年7月 1日から実施する。
- *この規約は、平成11年5月25日から実施する。
- *この規約は、平成15年6月 9日から実施する。

*この規約は、平成16年7月 9日から実施する。

*この規約は、平成19年6月 1日から実施する。

別表（第2条第2項関係）

- 社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会
- 社団法人 京都手をつなぐ育成会
- ハローワーク京都七条 京都障害者職業相談室
- 独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 京都障害者職業センター
- 社会福祉法人 京都総合福祉協会 京都障害者就業・生活支援センター
- 京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課
- 京都市産業観光局商工部産業政策課
- 京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
- 京都市児童福祉センター発達相談所
- 京都市立総合支援学校PTA連絡協議会
- 国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校
- 京都市立北総合支援学校
- 京都市立白河総合支援学校
- 京都市立東総合支援学校
- 京都市立鳴滝総合支援学校
- 京都市立西総合支援学校
- 京都市立呉竹総合支援学校
- 京都市教育委員会指導部総合育成支援課

[報 告]

(1) 平成21年度 事業報告

平成 2 1 年 度 事 業 報 告

事業内容（開催日時）及び報告・議事内容	情報交換内容
<p>第 7 3 回 事 務 局 会 議 (H 2 1 . 7 . 8)</p> <p>○事務局構成員の確認, 事務局長・代表の選出 <報 告></p> <p>○平成 2 0 年 度 事 業 報 告</p> <p>○第 7 2 回 事 務 局 会 議 以 降 の 活 動 報 告 <議 事></p> <p>○平成 2 1 年 度 事 業 計 画 (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業日程について ・第 1 6 回「障害のある市民の雇用フォーラム」について <p>○啓発チラシ, 雇用フォーラムチラシについて</p>	<p>○総合支援学校就職状況の報告 (京都市立総合支援学校)</p> <p>○平成 2 1 年 度 卒 業 生 進 路 希 望 状 況 に つ い て (京都市総合支援学校進路指導主事会)</p> <p>○最近の雇用失業の状況と京都障害者職業相談室における業務取り扱い状況について (京都障害者職業相談室)</p> <p>○平成 2 1 年 度 「京 都 障 害 者 ワ ー ク フ ェ ア」 に つ い て</p> <p>○第 6 回 アビリンピック京都大会開催について (京都府高齢・障害者雇用支援協会)</p> <p>○障害者就労支援推進会議設立について (京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課)</p> <p>○企業啓発事業について (京都市産業観光局商工部経済企画課)</p> <p>○「京都障害者就業・生活支援センター」これまでの経過と今年度の取り組みについて (京都障害者就業・生活支援センター)</p> <p>○その他</p>
<p>第 7 4 回 事 務 局 会 議 (H 2 1 . 9 . 1 6)</p> <p><報 告></p> <p>○第 7 3 回 事 務 局 会 議 以 降 の 取 組 に つ い て</p> <p>○白河総合支援学校における「PTA職場開拓状況」について <議 事></p> <p>○第 1 6 回「障害のある市民の雇用フォーラム」実施要綱について</p>	<p>○平成 2 1 年 度 「京 都 障 害 者 ワ ー ク フ ェ ア」 に つ い て (京都府高齢・障害者支援協会)</p> <p>○第 7 回 アビリンピック京都大会開催について (京都府高齢・障害者支援協会)</p> <p>○平成 2 1 年 度 「障 害 者 就 職 面 接 会」最近の雇用・失業情勢及び職業相談室での業務取扱について (京都障害者職業相談室)</p> <p>○平成 2 1 年 度 市 民 啓 発 の 取 組 (事務局)</p> <p>○その他</p>
<p>第 1 6 回 「障 害 の 有 る 市 民 の 雇 用 フ ェ ア フ ェ ム」 (H 2 1 . 1 1 . 1 1)</p>	
<p>○会場：メルパルク京都</p> <p>○参加企業：32社(10団体), 参加者：145名(総数)</p>	
<p>第 7 5 回 事 務 局 会 議 (H 2 2 . 2 . 1 7)</p> <p><報 告></p> <p>○第 7 4 回 事 務 局 会 議 以 降 の 取 組 に つ い て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 6 回「障害のある市民の雇用フォーラム」について ・平成 2 1 年 度 事 業 報 告 ・第 7 回 アビリンピック京都大会 ・平成 2 1 年 度 第 2 回 障 害 者 就 職 面 接 会 <p><議 事></p> <p>○平成 2 2 年 度 「巢 立 ち の ネ ッ ト ワ ー ク」の事業計画について</p>	<p>○平成 2 1 年 度 「巢 立 ち の ネ ッ ト ワ ー ク」の事業報告, 平成 2 1 年 度 市 民 啓 発 の 取 組 (事務局)</p> <p>○平成 2 1 年 度 京 都 市 総 合 支 援 学 校 高 等 部 卒 業 生 の 進 路 状 況 (京都市総合支援学校進路指導主事会)</p> <p>○障害のある人の雇用状況及び雇用失業の状況と今後について (京都障害者職業相談室)</p> <p>○平成 2 2 年 度 予 算 案 事 業 概 要 に つ い て (京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課)</p> <p>○教育委員会における現場実習の受け入れについて (事務局)</p> <p>○その他</p>
<p>啓 発 活 動</p> <p>『障害者就職面接会(企業セミナー)』H 2 1 . 9 . 2 8, H 2 2 . 2 . 1 0</p> <p>『PTAフェスティバル』H 2 1 . 1 2 . 1 2</p> <p>『小さな巨匠展』H 2 2 . 1 . 2 8 ~ 3 1</p>	

[議 事]

平成22年度 事業計画 (案)

(1) 事業日程について

(2) 雇用フォーラムについて

第17回「障害のある市民の雇用フォーラム」について（案）

ア. 日 時 平成22年11月10日（水） 13:30～16:30

イ. 会 場 京都市総合教育センター（全体会：4階永松ホール
分科会：第1・2・3研修室）

ウ. 目 的

- (1) 京都市立総合支援学校及び京都教育大学附属特別支援学校の卒業生を、継続雇用する企業に感謝の意を表すとともに、継続勤務している卒業生を表彰し、今後の更なる活躍を期する場とする。
- (2) 企業に職業的自立を願う総合支援学校生徒や保護者の思いを伝え、総合育成支援教育や総合支援学校が取り組んでいる職業教育の内容や実践及び総合支援学校生徒について理解を深める場とする。
- (3) 企業に、障害のある市民に関する認識を深めていただき、「総合支援学校生徒の進路開拓を目指す『巣立ちのネット WORK』」の活動について知っていただくことで、企業における体験実習の場及び雇用を働きかける場とする。
- (4) 障害のある人の雇用に関する様々な支援（学校や相談機関による支援、ジョブコーチ制度、助成金制度、報奨金制度、トライアル雇用など）について理解を深める場とする。

エ. 日 程

13:00~13:30	受 付
13:30~13:40	開会挨拶（10分） ・『巣立ちのネット WORK』代表 ・市長祝辞（副市長） ・京都市教育委員会
13:40~14:10	勤続5年表彰状・感謝状の贈呈式
14:10~14:50	全体会（40分） ・行政における障害者就労にむけた取組の現状：京都市障害者保健福祉局 ・京都市立総合支援学校の進路の取組について：京都市総合支援学校 ・分科会での基調提案の紹介 ①企業での障害者雇用について事例紹介 ②行政からの障害者雇用に向けた取り組みについて事例紹介 ③職業学科の取り組みについて
14:50	全体会終了の挨拶 移動・休憩
15:00~16:30	分科会（90分） 第一分科会「デュアル推進ネットワークの取り組みから（仮）」 （企業：株式会社 島津製作所） 第二分科会「企業と連携した就労支援施策について（仮）」 （企業：山中産業株式会社 行政：京都府高齢・障害者雇用支援協会、京都障害者職業センター） 第三分科会「就労に向けて学習中の在校生と就労している卒業生から」 （学校：京都教育大学附属特別支援学校卒業生 鳴滝総合支援学校・白河総合支援学校の在校生）
16:30	分科会ごとに閉会